

はじめに

ヨーロッパを中心に急激に生産と消費が拡大しているクサビ型のカラーピーマン。日本へもニュージーランド、オランダからの輸入が拡大しています。国内での生産も徐々に増えてきています。

ライク・ズワーン社では「Sweet Palermo」というブランド名で、世界的な普及を図っています。

果長: 20~25cm程度 果重: 100~120g程度の果実を着けます。

赤色、黄色、オレンジ色品種だけではなく、チョコレート色の品種も登場

赤色品種とオレンジ色品種については、安定してBrix 10度近い糖度を示す良食味品種です。

その食味の良さと、商品の魅力から、ヨーロッパでは数々の賞を受賞しています。

スイートパレルモの利点

何より通常のパプリカに比べると甘味が強く、ジューシーで非常に良食味です。

種子が少なく、果梗の方に固まっていて、そのまま輪切りにして料理に利用できます。

輪切りにした時の大きさが丁度良い大きさです。

そのまま縦に半分に切って、肉詰め等にしてもインパクトがあります。

生育の特性

パプリカに似た生育特性を示します。

ややパプリカに比べて小葉ですが、パプリカと同様に側枝の発生は弱いです。

パプリカに比べて着果は容易ですが、開花から収穫までの日数が長いです。

果肉がやや薄く、高温期に直射光があたると果実に障害が発生し易いです。

パプリカよりは茎が柔らかく、軽いツル下ろし栽培も可能です。



お勧め品種

赤色パレルモ品種 パレルモロントン Palermo Ronton RZ

パレルモの改良品種

パレルモに比べて開花から収穫までの日数が2週間程度短縮

パレルモに比べて曲がり果の発生が少なく、果揃いが良い。

秀品率も高い。

果長: 20~25cm、果重: 100~120g

果実のショルダークラッキング(肩部の裂果)も少ない。

病害抵抗性はTm:0-2/ PVY



黄色パレルモ品種 ヨカリーノ Yocarino RZ

パレルモヨセミテの改良品種

パレルモヨセミテに比べて、着果性、秀品率が向上

果長: 20~23cm、果重: 100~120g

果長もやや長くなり、赤色品種と揃う。

病害抵抗性: PVY:0,1,1.2/Tm:0-3

耐病性: TSWV:0



オレンジ色パレルモ品種 パレルモオキサリス Palermo Oxalis RZ

非常に食味の良いオレンジ色パレルモ品種

草勢はやや弱めで、草勢の維持のために主枝2本仕立てが最適

やや大き目の太短い果形となる。

果長: 20cm前後、果重: 120~140g

病害抵抗性: PVY:0,1,1.2/Tm:0-3

耐病性: TSWV:0



チョコレート色パレルモ品種 チョコロニー Chocolony RZ

チョコレート色のパレルモ品種

完熟果の糖度は9~10度

他のパレルモ品種に比べ、独特の食味、香りを持つ良食味品種

病害抵抗性: Tm:0-2



栽培法

(土耕栽培)

少なくともパイプハウス等の雨除け栽培施設が必要です。

土壌病害発生圃場では、接ぎ木が必要です。

適性な栽植密度は1,500~2,000株/ 10a程度 4本整枝(6~8本/㎡)をお勧めします。

夏期は強遮光(50%遮光程度)が必要になります。

収量レベルは3~10t/ 10a程度となります。

(養液栽培)

ハイワイヤー栽培では、栽植密度2,500~3,500株/ 10aも可能です。

3~4本整枝をお勧めします。

日射量にもよりますが、日平均気温20~22℃程度での管理が理想です。

EC2.0~3.0程度で養液管理

積算日射量100J当り250cc~400cc/ ㎡程度の灌水が必要

平均的な収量レベルは10t~20t程度、オーストラリア等では、

枝数11本/ ㎡まで増枝することで35t近い収量を上げた事例も。



distributor for



病害抵抗性・耐性の表記

Tm:0-2 タバコモザイクウイルス、トマトモザイクウイルス、トウガラシマイルド、モットルウイルス2

Tm:0-3 タバコモザイクウイルス、トマトモザイクウイルス、トウガラシマイルド、モットルウイルス2, 3

PVY: ジャガイモYウイルス TSWV: 黄化えそ病